

令和7(2025)年度のESD業務 実施報告資料

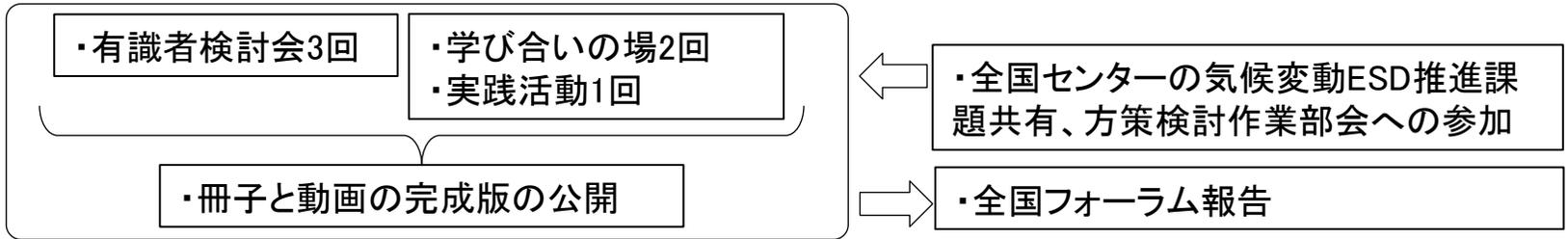
2026年2月19日

第2回 EPO中部・中部地方ESD活動支援センター運営委員会

2025年度中部地方ESD活動支援センター主催イベント／会合 一覧

区分	エリア	設営	時期	参加者数	テーマ／内容等	連携先／関係者／登壇者等	
多様な主体の連携促進、交流機会を提供	学び合いの場①	愛知県 豊田市	リアル	7/18	21名	R6年度成果に基づく検証ESDワークショップ (ローカルSDGsへの貢献観点での学び合いの場づくり企画)	<ul style="list-style-type: none"> 豊田市環境政策課、eco-T「エコト」豊田市環境学習施設、インタープリターなど
	学び合いの場②	福井県 坂井市	リアル	8/29	17名	R6年度成果に基づく検証ESDワークショップ (ローカルSDGsへの貢献観点での学び合いの場づくり企画)	<ul style="list-style-type: none"> 坂井市環境推進課、エコプランふくいなど ゼロカーボンWS5回シリーズの1回として開催
	実践活動	富山県 富山市	リアル	11/25、 26	54名	学び合いの場①②と検討会の議論を踏まえた実践:SDGs 貢献学び合い場づくりワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> 自治体職員、学校教職員、社会教育主事、等を想定 富山市教育委員会、富山市企画調整課、PECとやま
	有識者検討会	名古屋 富山 名古屋	リアル	6/2 7/23 12/4	各回 3名	R6年度の検証と今年度の計画検討 学び合いの場企画ワークショップ結果の検証、実践活動の検討 活動のとりまとめ、冊子と動画の作成方針	<ul style="list-style-type: none"> 古澤礼太委員、水上聡子委員、堺 勇人委員
ESD/SDGs 推進NW地 域フォーラム	名古屋	ハイブ リッド	9～10 月頃	33名	第7期共通テーマ:社会と学校のESDネットワーク 2025年度テーマ「ESD:探求学習と地域連携」 探求学習と地域の連携に関する話題提供とディス カッション	<ul style="list-style-type: none"> 基調講演(案)名古屋市立大学 松村智史 准教授* 地域ESD拠点など、学び合いプロジェクト有識者検討会メンバー 話題提供:飯田市、しいたげ高校生ESD塾 (都留文化大学 田開準教授など) コメンテーター:加藤隆弘先生(金沢大学) 	
自然資産 を活かした ESDダイア ログ	(尾鷲)	リアル (オンライ ン併 用?)	10/17、 18	1日目 56名 2日目 19名	第7期共通テーマ:山と水と人間と 2025年度テーマ「仮」南紀からのESD発信」 1日目ESDダイアログ 話題提供、取組発表、ディスカッション 2日目エクスカッション	<ul style="list-style-type: none"> 尾鷲市役所、輪内中学校、尾鷲高等学校 環境省自然公園事務所 大台ヶ原、杉谷ユネスコエコパークなど 豊田市自然観察の森 基調講演、コメンテーター 水谷瑞希先生(信州大学) 	
SDGs学生 サミット	(春日 井)	オンラ イン 配信	2/7	100名程度	ユースに対するSDGs活動交流を通じたESDの場の設 営 ・学生、生徒の取組発表、社会人の話題提供 ・交流ディスカッション	<ul style="list-style-type: none"> SDGs関連活動に取り組む大学生、高校生、地域連携など 基礎自治体、企業、NPO等のSDGs取組 運営委員に対するディスカッションファシリテーターの依頼 総括:伊藤恭彦運営委員会座長(名古屋市立大学) 	

多様な主体の連携促進、交流機会提供
(学び合いプロジェクト)



学び合いプロジェクト有識者検討会

古澤礼太 中部大学国際ESD・SDGsセンター准教授、中部ESD拠点協議会事務局長
 水上聡子 EPO中部運営委員、アルマス・バイオコスモス研究所代表
 堺 勇人 EPO中部運営委員、一般社団法人 環境市民プラットフォームとやま(PECとやま)事務局長
 原 理史 中部地方ESD活動支援センター、中部大学国際ESD/SDGsセンター研究員
【オブザーバー】環境省 中部地方環境事務所環境対策課
【事務局】清本三郎 EPO中部統括

ESDワークブックを活用して企画運営するために
 ～パッケージスライドと説明動画をご活用ください！～

ESDを実施する企画運営者スキルアップのための《ワークショップパッケージスライド》と《ワークショップパッケージ説明動画》を公開しています。是非ご活用ください。

ESD学び合いの場企画ワークショップパッケージスライド (3,698KB)

▼ワークショップパッケージ説明動画はこちらから

2025年度学び合いプロジェクト ワークショップ・SDGsの学びの場をつくる！

目的： ローカルSDGsへの貢献観点での「学び合いの場づくり」の企画を学ぶ。

企画運営者のESDスキルアップを図ります。地球温暖化防止活動などの普及啓発や出前授業などで、気候変動教育としての機会を充実させるため、様々なESDとしての学び合いの場の企画運営スキルの向上を目指すワークショップを実施する。

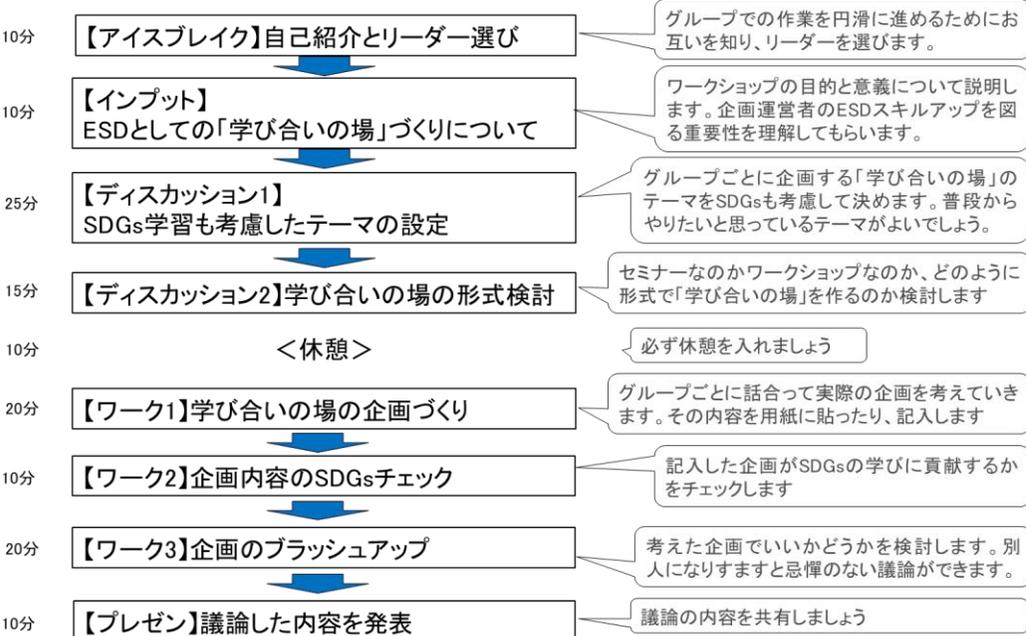
学び合いの場①
 対象: eco-T「エコット」豊田市環境学習施設職員、同インタープリターなど
 期日: 2025年7月18日 13:00~15:30
 場所: 愛知県豊田市 eco-T豊田市環境学習施設
 主催: 中部地方ESD活動支援センター
 協力: 豊田市環境政策課

学び合いの場②
 対象: 地域市民(ゼロカーボンWS5回シリーズ内)
 期日: 2025年8月29日、19時~21時
 場所: 福井県坂井市
 主催: 福井県坂井市役所
 共催: 中部地方ESD活動支援センター
 協力: アルマス・バイオコスモス研究所

実践セミナー(実践活動)
 対象: 富山市教育委員会社会教育主事等
 期日: 2025年11月25日PM, 26日AM
 場所: 富山市
 主催: 中部地方ESD活動支援センター
 協力: 富山市教育委員会、富山市企画調整課、PECとやま

ワークショップのミッション 気候変動教育などESD学び合いの場の企画書を作る

プログラム案



- ・右の用紙に記入したり付箋を貼ったりしてESDの場の企画書案を作成します。
- ・全部で120分程度の時間枠を想定しています。
- ・4~5人のグループいくつかで行うことを想定しています。
- ・中部地方ESD活動支援センターが作成した「ESD学び合いの場づくりワークブック」を教材として使います。

ESD学び合いの場づくり 企画ワークシート(Vr.2)
必要な「人」「もの」「こと」「金」を想定しながら、学び合い企画のアイデアをメモしてみよう。

テーマ	学びの目標
	想定される参加者
学び合い形式	<input type="checkbox"/> 講演 <input type="checkbox"/> 発表会 <input type="checkbox"/> パネルディスカッション <input type="checkbox"/> グループディスカッション <input type="checkbox"/> ロゲーム <input type="checkbox"/> 試験 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> 個人ワーク <input type="checkbox"/> 視察・観覧会 <input type="checkbox"/> 屋外ワーク <input type="checkbox"/> 展示・ブース <input type="checkbox"/> その他()
●全内容	●必要なもの、考慮すべきこと
日時・場所	もの) こと) 金) など
プログラム	人) こと) もの) 金) など
主催と協力者(共催・後援)	人) 金) など
人あつめ(参加者)	人) こと) 金) など



教材 「ESD学び合いの場づくりワークブック」

学び合いの場①実施結果

目的: ローカルSDGsへの貢献観点での「学び合いの場づくり」の企画を学ぶ。
 「ESD学び合いの場づくりワークブック」を教材とし、地球温暖化防止活動などの普及啓発や出前授業などで、気候変動教育としての機会を充実させるため、様々なESDとしての学び合いの場の企画運営スキルの向上を目指すワークショップを実施する。

対象: eco-T「エコット」豊田市環境学習施設職員、同インタープリターなど

参加: 合計21名

インタープリター 16名 4班

エコット職員 5名 1班

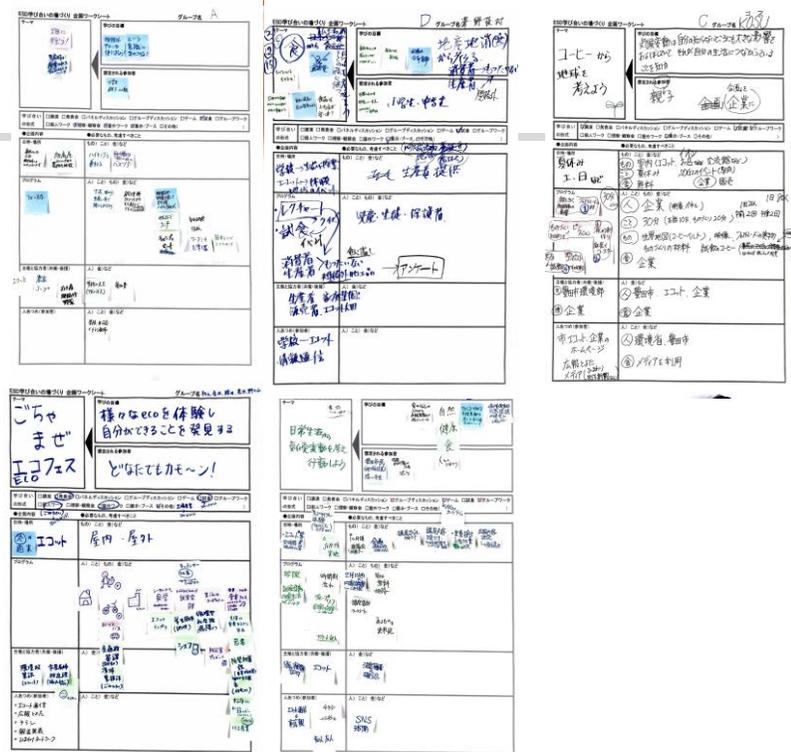
期日: 2025年7月18日 13:00~15:30

場所: 愛知県豊田市

eco-T豊田市環境学習施設2Fセミナールーム

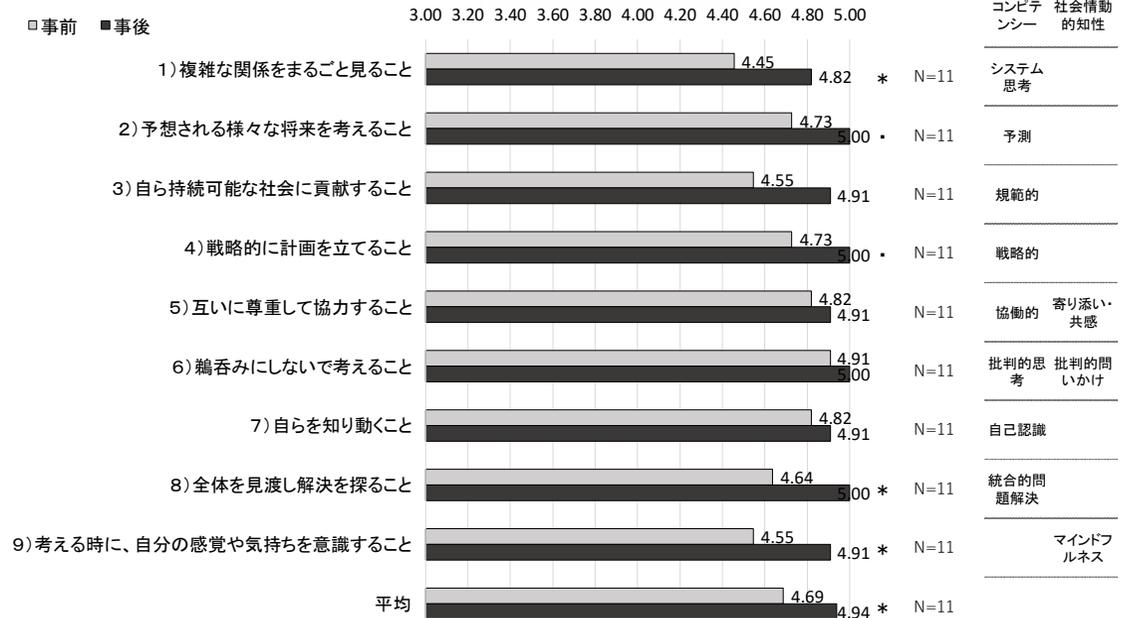
主催: 中部地方ESD活動支援センター

協力: 豊田市環境政策課



5件法平均値・重要性認識 事前、事後

□事前 ■事後



対応のあるt検定両側P値: **<0.01, *<0.05, <0.1

学び合いの場②実施結果

目的: ローカルSDGsへの貢献観点での「学び合いの場づくり」の企画を学ぶ。

「ESD学び合いの場づくりワークブック」を教材とし、地球温暖化防止活動などの普及啓発や出前授業などで、気候変動教育としての機会を充実させるため、様々なESDとしての学び合いの場の企画運営スキルの向上を目指すワークショップを実施する。(坂井市主催ゼロカーボンWS5回シリーズの1回)

対象 地域市民 当日参加者ファシリ含め17名

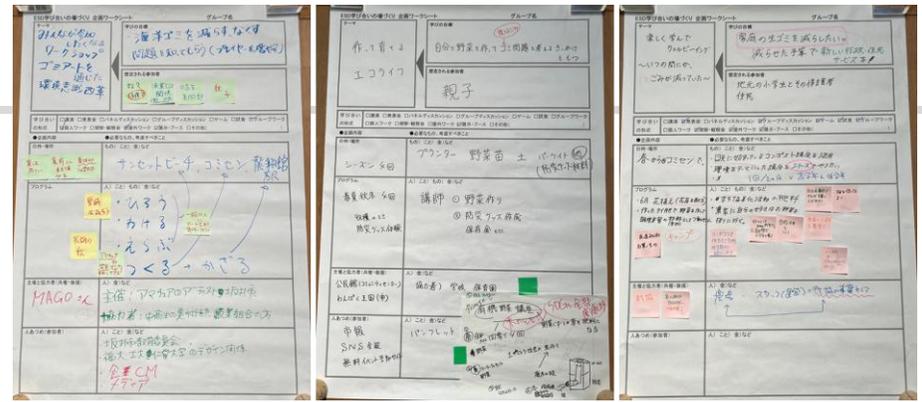
期日 2025年8月29日、19時～21時

場所 福井県坂井市

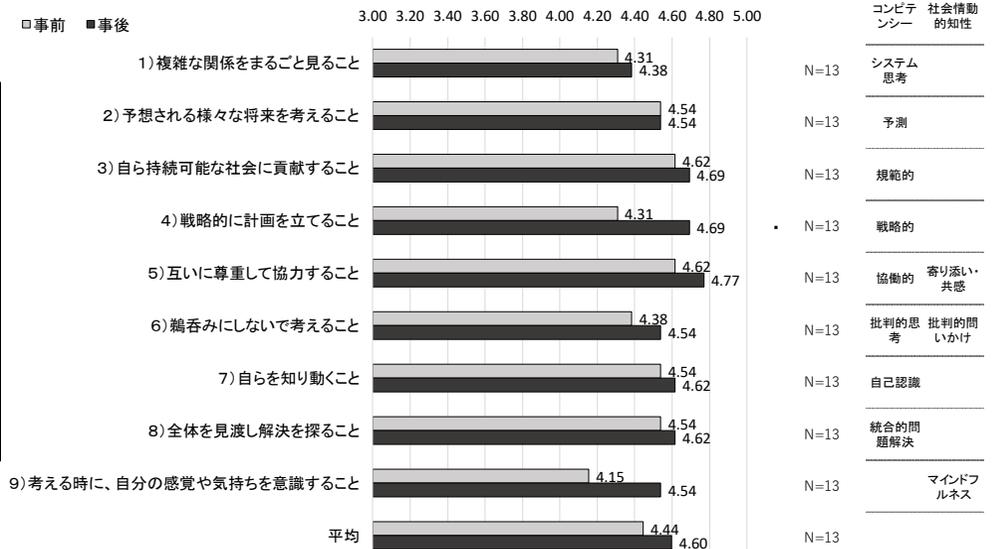
主催 福井県坂井市役所

共催 中部地方ESD活動支援センター

協力 アルマス・バイオコスモス研究所



5件法平均値: 重要性認識 事前、事後



対応のある検定両側P値: **<0.01、*<0.05、.<0.1

第3回 戦略的にプランを考える(チームで取り組むプランの骨格とインセンティブを考える)

第1回、第2回を通して育ちつつある内発的動機について、それはどのようなものか簡単に理論を学んだ上で、坂井市の総合計画が目指すwell-being8指標をあてはめて、「誰の、どんな幸せ実感」を目指したいのかをイメージできるようにする。一方、ESDとしての学び合いの場の意義を理解し、SDGsの視点もふまえながら、どのようなアクションプランが現実的、効果的かを考え、いよいよプランの仕上げとなる第4回へと自信を高めて帰ることができる。

実践セミナー（実践活動） 実施結果

目的：ローカルSDGsへの貢献観点での「学び合いの場づくり」の企画を学ぶ。

公民館で実施する生涯学習活動に、SDGsの視点を取り入れることで、持続可能な地域づくりと地域人材の育成につながるよう、公民館職員同士の学び合いの場を設ける。

公民館主事研修(ESDワークショップ)

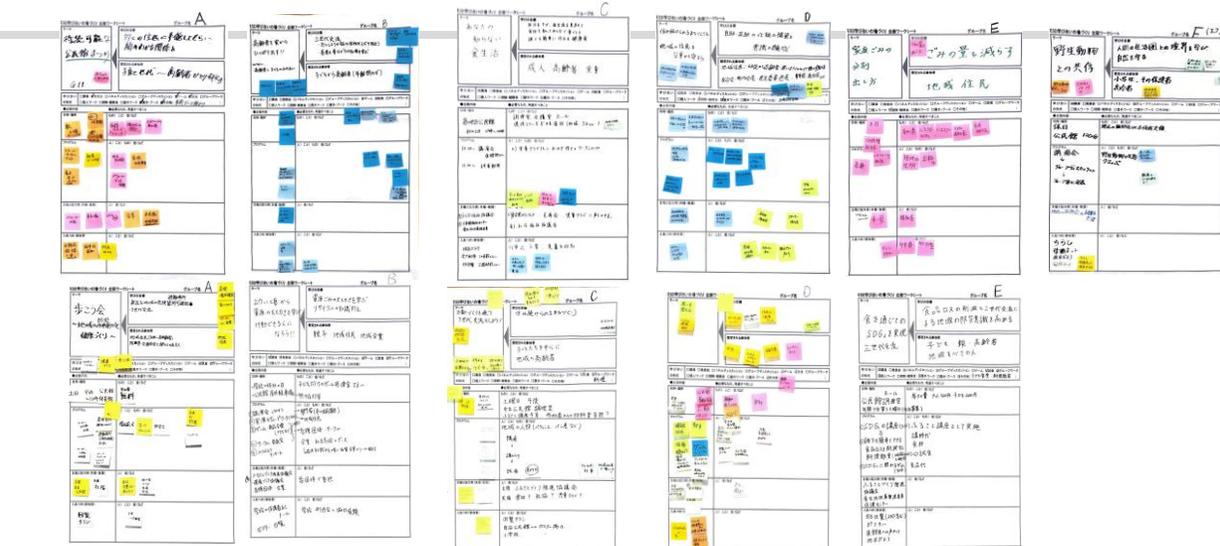
対象 富山市教育委員会社会教育主事等 54名

期日 2025年11月25日PM, 26日AM

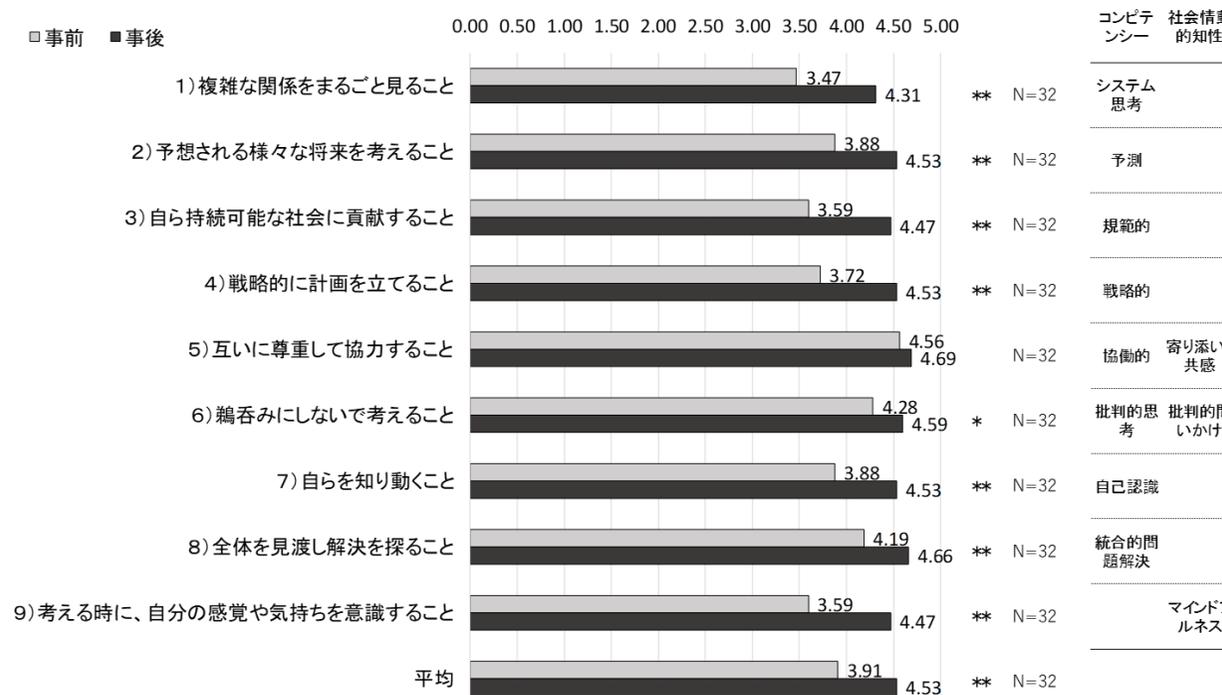
場所 富山県富山市

主催 中部地方ESD活動支援センター

協力 富山市教育委員会、富山市企画調整課、PECとやま



5件法平均値:重要性認識 事前、事後



全国フォーラムでの報告(12/7)

ESD推進ネットワーク全国フォーラム2025

世代をこえて考える、気候危機のこれから
～こども・ユースの声をきっかけに広がる対話～

2025.12.07 (SUN)
10:00-16:00 (受付9:30～)

立教大学池袋キャンパス7号館
(〒171-8501東京都豊島区西池袋3-34-1) [アクセス](#)

※オンライン配信あり

プログラム

- 9:30 AM 受付開始
- 10:00 AM ESD推進全国フォーラムの趣旨・スケジュール説明
- 10:10 AM 開会挨拶・基調報告 (東横編)
- 10:20 AM 基調報告 (文部科学編)
- 10:40 AM 連携教育・ESD実践連携展示
- 12:30 PM ポスターセッション・ネットワーク
- 13:45 PM 基調講演 佐藤 真久氏 (東京都市大学)
- 14:30 PM こども・ユースからの報告 (10分×3回演)
- 15:00 PM 基調講演及びこども・ユース世代からの報告を聞いた感想の共有
- 15:55 PM 閉会挨拶

基調報告：VUCA社会に向き合う探究モードの挑戦
～世代・世代内における協働と自己実現型探究の構築を通して (仮)

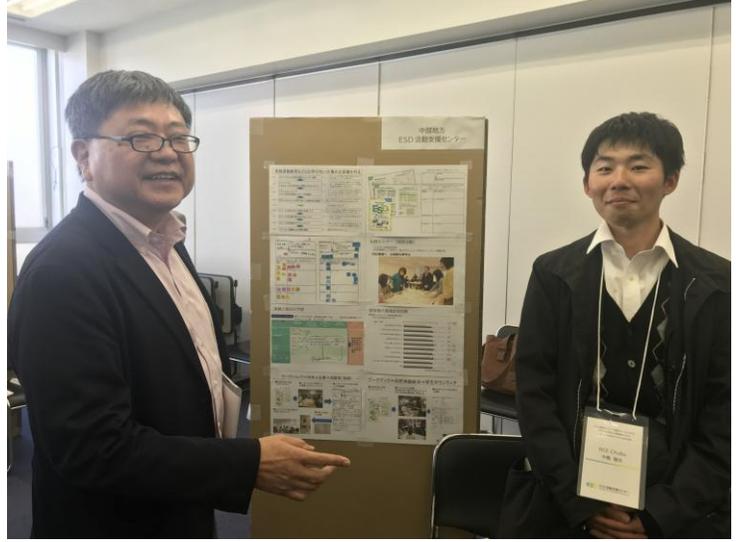
佐藤 真久 (さとう まさひさ)
東京都市大学大学院 環境情報学研究科 研究助教授/学長補佐

英国ロンドンサウサンプトン大学にてPh.D.取得。
IGES協働研究プロジェクト研究員、ACCUSコア・プログラム・20x20ビジョンを導いて協働。現在、ESD推進活動センターの共同代表者として、各地域での連携活動の委員、SDSN JAPAN委員、日本ESD学会副会長などを務める。

ASEAN第一副議長府政執行副大臣兼委員、UNESCO ESDグローバルアクションプラットフォームP11「教育の持続性」「健康・ESDの分野」シナリオレポート執筆委員兼委員など多岐に。協働ガバナンス、社会の学習、持続可能な未来などの地域でプロジェクト、組織論、学習・教育論の発展に関する研究と実践を牽引している。

お問い合わせ先
ESD推進活動センター
TEL: 03-5427-9112
MAIL: contact@esdcenter.jp

ESD推進活動センター



ESD推進ネットワーク全国フォーラムは、ESD推進ネットワークの主たるステークホルダーが一堂に集い、ESDに関する最新動向、ネットワーク形成の状況を共有するとともに、全国各地の実践事例を学ぶ機会として毎年開催しています。

気候危機は、世代や立場を問わず、すべての人に影響を及ぼす大きな課題です。未来を担うこどもやユースの声を、私たちに新しい視点や問いを投げかけ、対話を広げるきっかけとなります。

本テーマでは、世代をこえて共に考え、学び合いながら、持続可能な未来をどのように築いていけるのかを探ります。

「SDGs達成の鍵」とされるESDに関わる学校・団体・企業など、全国各地から多くの方々のご参加をお待ちしています。

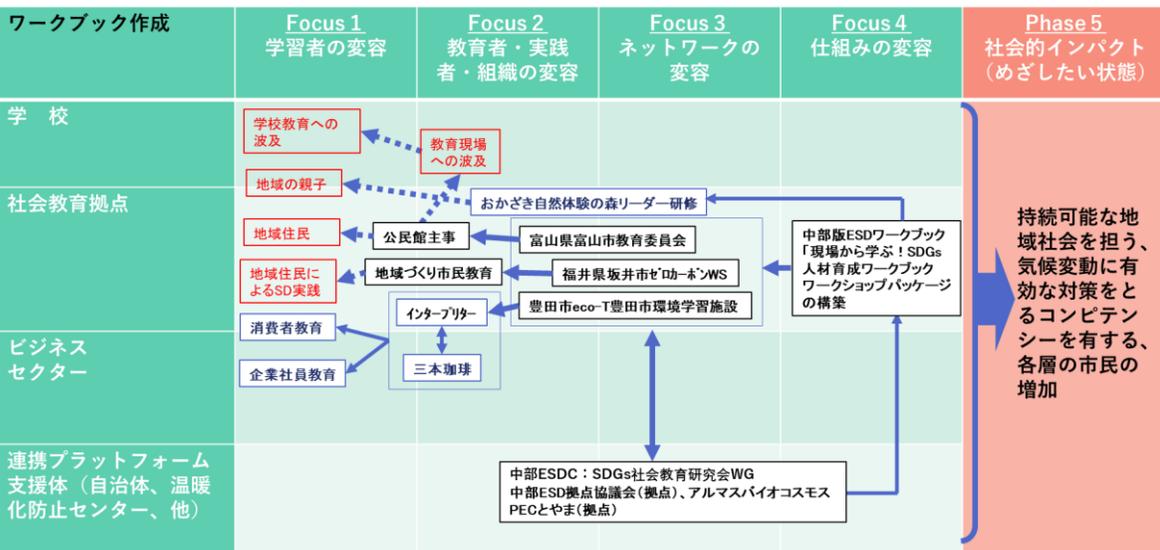
参加費 無料

参加 申込 申込フォームに必要事項をご記入の上、**令和7年11月30日(日)まで**にお申し込みください。右のQRコードからもお申込みいただけます。

主催：ESD活動支援センター、文部科学省、環境省

プロジェクト・センター名 地域づくりのためのSDGs・気候変動社会教育(2025) / 中部地方ESD活動支援センター

凡例：黒字(プロジェクト実績)、青字(波及効果実績)、赤字(波及効果の直近の予想)



その他の主催イベント、
その他の事業について

自然資産を活かしたESDダイアログ2025（10/17、18）

第7期（令和6年度～8年度）共通テーマ：山と水と人間と 主催：中部地方ESD活動支援センター

ESDダイアログ2025 山と水と人間と ～南紀からのESD発信～く吉野熊野国立公園指定90周年を機会に>

- 【主催】中部地方ESD活動支援センター（環境省EPO中部）
- 【後援】尾鷲市 尾鷲市教育委員会 三重県立熊野古道センター
- 【開催期日】2025年10月17日（金）・18日（土）

1日目午後ESDダイアログ（オンライン併用）参加56名
＜プログラム＞

開催市挨拶 加藤千速尾鷲市長

主催者挨拶 環境省中部地方環境事務所環境対策課

第1部 自然資産とESD

インプット①「南紀地方と吉野熊野国立公園 ～自然の保全と活用～」

楊木 萌氏 吉野熊野国立公園管理事務所国立公園管理官

インプット②「尾鷲市のネイチャーポジティブと地方創生」

芝山 有朋氏 尾鷲市水産農林課長

基調講演「自然資産を学びに活かすESDと地域づくり」

水谷 瑞希氏 信州大学教育学部准教授

第2部 ESDの取組～中部地方のネットワークを通じて

①尾鷲市のESD取組

尾鷲市立輪内中学校 「ふるさとキャリア学習」

三重県立尾鷲高等学校 「ITと地域課題（尾鷲甘夏）を連動させた解決方法」

②他地域のESD取組

大西 かおり氏 NPO法人大杉谷自然学校校長

大坪 瑞樹氏 豊田市自然観察の森「とよたの自然パートナーズ」所長

第3部 パネルディスカッション

辰巳 知之氏 吉野熊野国立公園管理事務所国立公園利用企画官

大西 かおり氏 NPO法人大杉谷自然学校校長

大坪 瑞樹氏 豊田市自然観察の森「とよたの自然パートナーズ」所長

宮本 秀男氏 三重県立熊野古道センター長

渡邊 史次氏 尾鷲市教育委員会教育総務課調整監

芝山 有朋氏 尾鷲市水産農林課長

濱田 一多朗氏 尾鷲市商工観光課長

コメンテーター 水谷 瑞希氏 信州大学教育学部准教授

▼アーカイブ動画を公開しています。



https://chubu.esdcenter.jp/hot_topics/esddialogue20251017-1018-youtube



2日目午前～午後エクスカージョン 参加19名

みんなの森⇒九鬼町の伝統漁村⇒

おわせお魚いちば おとと⇒尾鷲物産水産工場



SDGs学生サミット (2/7 開催)

- テーマ：ESD：地域・学校と大学連携
- 目的：SDGs活動の発表と議論
- 時期：2026年2月7日（土）13:00～17:30
- コア参加
 - ・SDGs関連活動に取り組む大学生、高校生、高大連携、世代間連携など
 - ・基礎自治体、企業、NPO等のSDGs取組
- 開催方法：オンライン（ハブ：中部大学DEルーム）



SDGs 学生サミット

2026年2月7日(土)
13:00～17:30・オンライン

地域と連携してSDGsに取り組む大学生グループやSDGsに関連する探究学習活動を行う高校生グループがオンラインで取組を発表します。

発表団体

高校生の部

- ▶愛知県立愛知商業高等学校
- ▶中部大学第一高等学校
- ▶岐阜県立太田高等学校

大学生の部

- ▶岐阜大学 環境サークルG-amet
- ▶中部大学 ESDエコマネージャー
- ▶金沢星稜大学 新ゼミナール

プログラム

- 第1部 団体発表
「コースと地域と連携するローカルSDGs」
SDGsの取組について、地域と連携して活動している大学生・高校生グループが取組について発表を行います。
- 第2部 議題提供
地域のSDGsの取組～地域社会におけるSDGsの取組～
▶中部地方でSDGsの取組をしている団体のプロジェクトを紹介していただきます。
- 第3部 ディスカッション
ローカルSDGsのために、連携して協働取組を進めよう！
進行：原 理史（中部地方ESD活動支援センター）
総括：伊藤 寿彦氏（名古屋市立大学副学長、EPO中部・中部ESD支援センター運営委員会 会長）

一般参加 申込不要

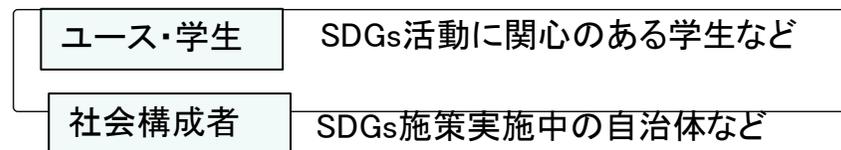
- ▶当日YouTubeライブ配信を視聴できます。
- ▶視聴URLはwebページに掲載します。

Webページ
ハブを学ぶ中部大学学術研究所
デジタルルームDE

主催 ▶ 中部地方ESD活動支援センター（環境省EPO中部内）
協力 ▶ 中部大学中部高等学術研究所、国際GISセンター（環境省EPO中部内）
協力 ▶ 中部大学中部高等学術研究所、国際GISセンター（環境省EPO中部内）

中部地方ESD活動支援センター
Research for Sustainable Development

コア参加



参加者
学生、高校生：27名
その他関係者：19名



主催：中部地方ESD活動支援センター（環境省EPO中部内）
 協力：中部大学中部高等学術研究所、国際GISセンター 問題複合体を対象とするデジタルアース共同利用・共同研究拠点

高校生、大学生グループ発表者が作成した連携図とSDGs関係図（事例）

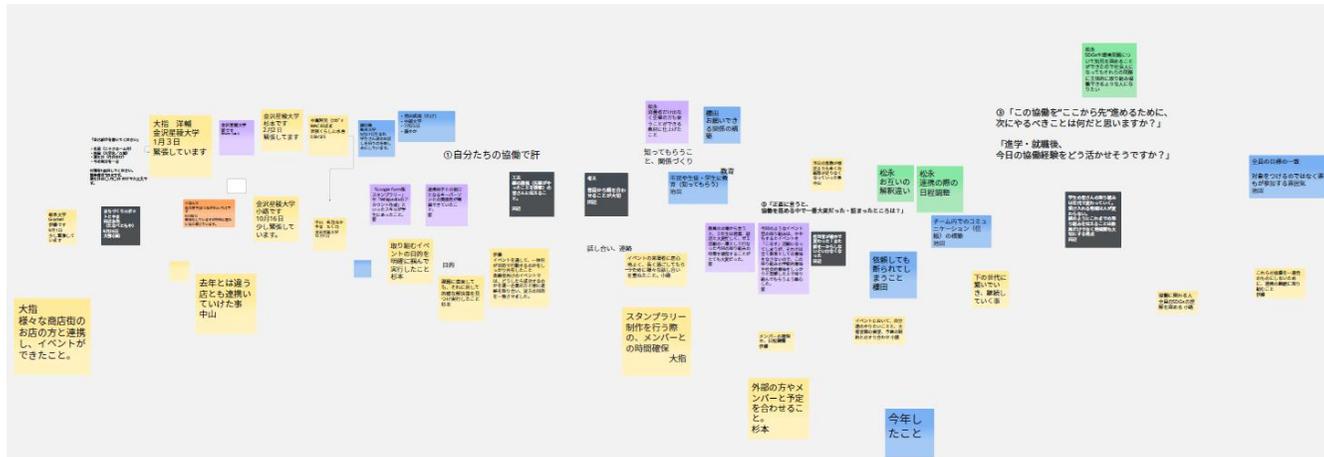
愛知県立愛知商業高校 みつばちプロジェクト



金沢星稜大学 商店街を拠点とした持続可能なまちづくり



グループディスカッションのホワイトボード（Bチーム）



① 専門家への包括ヒアリング(案)

- 名古屋市立大学 伊藤恭彦先生、松村智史先生
高等学校の探究学習とESDについて、を中心に
2025年5月21日実施

② 教育部局、教育員会、現場の教員等(2名)

- 愛知県愛知商業高等学校 安藤先生 2025年10月20日実施
- 中部大学中部第一高等学校 山田先生 2025年10月21日実施

③ 中小企業の経営者等(2名)

- 株式会社鈴六(古着リサイクル業) 2025年8月26日実施
- 特定非営利活動法人 アスクネット(キャリア教育支援) 2025年9月24日実施

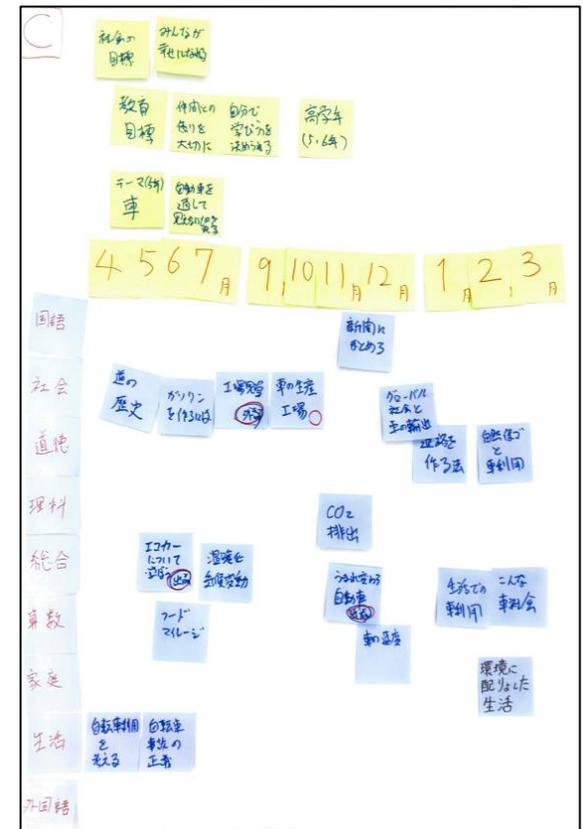
●高校の探求学習関係者へのヒアリング(4件)

- ・ 岐阜県立斐太高等学校 教頭 足立先生 8月1日
- ・ 名古屋市立桜台高等学校 牛田 キャリアナビゲーター様 7月22日
- ・ 愛知県愛知商業高等学校 安藤先生 10月20日
- ・ 中部大学中部第一高等学校 山田先生 10月21日

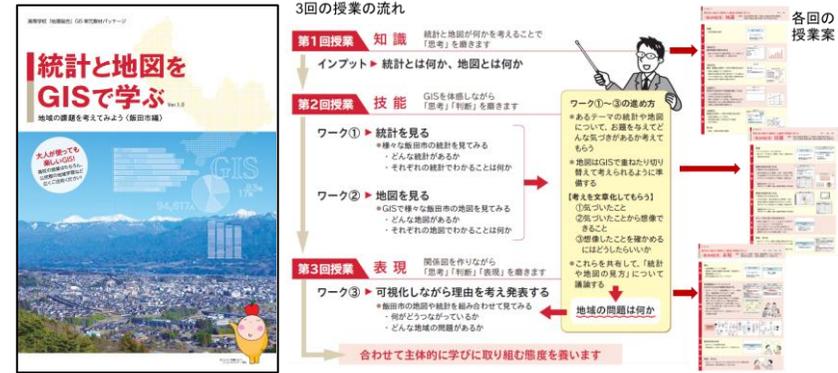
●教職員等環境教育・ESD推進リーダー養成研修への参加

- ・ SDGs達成に向けた環境教育・ESD実践講座(7月31日)
主催:環境省、名古屋市環境局「環境学習センター」
共催:「なごや環境大学」実行委員会

グループワーク
ESDカレンダーの作成

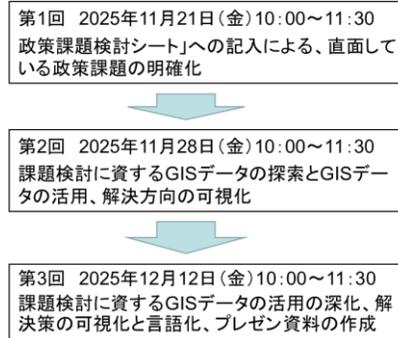


●都留文化大学、中部大学連携による飯田市の地理総合学習教材作成事業への協力



●飯田市におけるGIS×AI活用職員研修、プログラム構成とファシリテーター支援

- 2025年11月21日、11月28日、12月12日実施



A班：道路水路の構造物の老朽化への対応

GIS活用資料 テーマ：道路・水路の構造物の老朽化への対応

目的内容 ▶ 優先度を可視化し、より効果的に対応できるようにする。

作成に利用したデータ
道路線形
管線(下水道)
穴埋め箇所(R4)
穴埋め箇所(R5)
穴埋め箇所(R6)

注 ▶ 資料内への対応にあたり、優先順位を効果的に設定していく必要がある。
この地図を活用することで、老朽化が進んでいる路線、緊急性がある路線について可視化することができる。
注 ▶ 国土情報資料への利用、
方 ▶ 事業計画資料への利用。

●大府市におけるSDGs職員研修へのSDGsチェックリスト、SDGs指標物語ツールの紹介とプログラム構成支援

- 2026年2月3日実施予定

大府市 令和7年度環境講座

SDGsを業務につなげる職員研修
— 持続可能な大府市を目指して —

2026年2月3日

中部大学中部高等学術研究所
一般社団法人環境創造研究センター
環境省EPO中部・中部地方ESD活動支援センター
原 理史(はら まさし)

プログラム

- インプット1: ローカルSDGsと大府市役所の仕事
第六次環境基本計画から地域行政を考える
- ワークショップ1: 身近な業務のSDGsへの貢献
チェックリストを用いた市政業務のSDGs貢献の可視化
- インプット2: 行政の評価と指標
SDGs的な地域行政の評価を考える
- ワークショップ2: 評価指標をSDGs視点で見る
SDGs指標物語を作る